

## 国際交流基金本部訪問

11月27日(水)、法律経済学科の3年生2人(アジア経済論ゼミナール)と4年生2人(国際法ゼミナール)とともに、国際交流基金本部を訪問した。訪問の目的は、国際交流基金の活動について知ることに加えて、国際交流基金で働くとはどういうことかを学ぶことであった。今回、国際交流基金を訪問することになった経緯は、引率者の長田華子(人文社会科学部准教授)が、インドニューデリー日本文化センターを訪問したことをきっかけに、国際交流基金の活動の意義を痛感し、学生に基金の活動を紹介したことにある。

現、国際交流基金日米センター上級主任の田中洋二郎氏(前、インドニューデリー日本文化センター駐在員)から、①国際交流基金とはどういう機関か、②国際交流基金の主な活動とは何か、③国際交流基金で働くためには何が必要か、という3点について話を伺った。少人数であったために、質疑応答を交えながら、和やかな雰囲気の中で約2時間の滞在を終えた。

参加した4名の学生は、1年間の交換留学を経験した者や文化交流に関心のある者で、田中氏のお話は大変興味深かったようである。特に、文化を通じた国際貢献の重要性を強く意識したと思われる。また田中氏から、在学中の海外留学のすすめや自分の「好きな」ことを仕事にすることの喜びや重要性についても指摘された。参加学生にとって、刺激的で学びの多かった訪問だったと引率者として感じている。

なお、今回、参加学生の国際交流基金本部までの交通費を、後援会のご支援のもと支出しました。心より御礼申し上げます。



国際交流基金本部訪問、田中洋二郎氏からのお話と質疑応答①



国際交流基金本部訪問、田中洋二郎氏からのお話と質疑応答②